

「ポリゴン」



新しい世界観のためのプロジェクト



序文

数千年の宗教戦争が我々の歴史である。

我々の全ての獲得物、人間世界の墮落した点も高貴な点も、これら宗教対立の産物である。

この創造的な対立を継続する可能性をもつために、我々個々人の信仰は同じ根を持ち、我々は皆同じである、ということを我々自身に語る勇気がある。すべての主要な宗派の代表者が宗教戦争なしに新しい世界観を創り出す新たな機関を我々は必要とする。古いパラダイムは、もはや我々の可能性にそぐわず、完全に取って代わられなければならない。

そのとき発生する新たなビジョンは、競争の精神を維持する可能性を我々に与え、しかし、我々を自滅の深淵に導くものであってはならない。これは我々の文明のすべての精神的指導者に対する時代に適した要求である。



世界遺産

カザフスタンの東に人類史の最近の時代で最も重要な象徴の一つがある。ソ連の最初の核爆発実験が行われた核実験場、ポリゴンである。その基幹構造物は、1947年から1949年に建造された。ポリゴン地区の総面積はおよそ18,500平方キロメートルに及ぶ。

ポリゴン地区のおよそ300平方キロメートルに及ぶ広大な土地である「オピトゥノーエ・ポーレ」（実験場）は、全部で116回の地上爆発に使用された。1949年8月29日の現地時間午前7時に、ソ連で最初の核爆弾の核爆発がおこなわれた。1955年11月22日にはそこでTNT火薬に換算して1.6メガトンに相当する最大エネルギーが放出された。1962年12月24日に最後の実験を以って地上爆発の時代が終了した。

「オピトゥノーエ・ポーレ」という名前は、人間によって創られ、その機能において過去に類がなかったし、今後も類がないであろう、というものを意味する。「オピトゥノーエ・ポーレ」は、原爆を製造し、利用し、取り扱おうとは絶対しない人類の試みを伝えている。塔や廃棄物の雫、クレーター、軍事防護施設といった形の物質的記念碑は、これまでの50年にわたる自然界の出来事や歴史的な事象を刻んでおり、絶対にユネスコの世界遺産リストに入る。

この種の基幹構造物は、もう二度と建造されない。この種類のものは、人類の進歩の中で革命的段階を具現化している。

「ポリゴン」は世界遺産であり、我々の文明の聖地である。「ポリゴン」は新たな世界観との境地である。人類は、神々からもはや神々を必要としないほどの力を手中にした。このエネルギーとその取り扱い、新たな世界観にとっての基盤である。



世界観は即、信仰である。信仰は内なる対話の帰結として生じる。その内なる対話は人間の要素である。祈りは内なる対話の方法である。預言者はその対話を社会的なものにした。これがすべての宗教の始まりであり、宗教は、対話の社会化された体験においてのみ、何が自然の戯れ（気候、人種、自然現象[地震、隕石、彗星]・・・）であるかを区別する。

人類は今やもう宗教を必要としない。人類は今や自分自身に対する信仰を必要としている。この新しい世界観は、責任と行動を放棄せず、生きることや人間への軽視を制限なく無関心に許容することのないところのみ生まれることができる。

偉大な宗教の退廃と不毛な雰囲気は、人類の問題ではない。最後の警世者、そしてそれ故に正統な警世者の名による絶えざる戦争のイデオロギーは、幼稚な傲慢さとファナティズムの不幸の中での自滅への道である。

我々問題は、新たな可能性と肯定的エネルギーに満ちた世界である。新しい世界観。この世界観の聖地はすでにそこにある。それらはユネスコの世界遺産に登録されている。（宗教史の一種の記念碑）。「ポリゴン」- そこは、人間が自分自身を必要とし、自分たちの信仰は意識して自分で創る新しい世界への境界である。人はそのために各人の形でみずからの責任を取る。その挑戦がそこにある。我々に残されている道は、人間のエネルギーを自ら抹殺する経験を乗り越え、人類史のすばらしい情熱を先に進める以外他にない。その人間のエネルギーは、新たなイデオロギー、新たな世界観を必要としている。

最後の爆発は地下であったが、1989年10月19日に行われた。



プロジェクトに関する最近の条件

現在、「オピトゥノーエ・ポーレ」を含むすべての実験場は、「カザフスタン共和国国立核センター」により管理されている。このセンターは、カザフスタン共和国エネルギー・鉱物資源省に属しており、両機関は、「世界遺産・ポリゴン」プロジェクトの件における窓口である。

2003年11月、ARTE放送のこの実験場に関するルポルタージュの収録の一環で訪問した際、私は核センターの数人の人たちと「世界遺産」の問題について予備会談を行った。この会談で私は積極的な賛同を得、支援と協力が約束された。

「オピトゥノーエ・ポーレ」の一連の基幹構造物は、私には回覧展示場（「明示された抵抗」）に適した芸術作品に見える。

この核センターは、ポリゴンを歴史的な作品として守り、維持するための十分な資金を持っていない。現在、実験場で十分な資金を受けているのは、目下運営中の分野だけである。

監視が不十分だと、この歴史的物件が破壊されたり崩壊する以外に、状況に適さない実験場の使用は、放射能汚染によって人への被害に至る危険性を近隣地域だけに留めない。

ユネスコは、世界文化遺産に対する責任を担う主務機関である。この特殊なケースは、我々をして「世界遺産・ポリゴン」プロジェクトを展開するために、迅速かつ効果的行動に駆り立てる。



人間と芸術

芸術は人間の世界創造の、人間の世界観の最初の、そして最高の段階である。

芸術はそれぞれの文化の手引書であり、その濃縮された、掛替えのない形での表現である。

その概念：創造、訴え、決定は、際限のない信念にとって、また芸術家のインスピレーションにとってもうってつけのものであり、すべての文明の基礎であり、エネルギーの源泉である。

「明示された抵抗」のためのオブジェクトは、だれにとっても芸術作品と意識されずに創られた。そのことがこの件をさらに優れた、そしてともかくも芸術にしている。

現在の我々の時代に、神の創造、訴え、決定が問題になるとき、それらは情緒的に宣言され、体験される。それらが合理的なのは、自然の戯れだけであり、それによって個人の経験はさらに徹底される。

我々は最終的に仲介者なしに天国と意思疎通する。つまり我々はそれについては誰に対しても責任を負っていない。従って全く自由であり、全責任を堂々と担っている。

正当性の問題は意味がない。天国の正当性をかねてから認めているものは、自分のそこでの暮らしの正当性だけが益々問題になっている。

芸術の法則がいつか作られ、発展され、そして新しいものによって取って代わられる。最後のものが芸術であり、他のすべてのものは模倣である。



最初のステップ

このプロジェクトを実現するための最初の実質的ステップは、オブジェクトを視察し、プロジェクトを実施するためのプランを練ることを目的とした専門家グループの形成にある。これには、いくつかの基幹構造物（「明示された抵抗」）の回遊展示場の組織化と来場者のための実験場の開放が属する。

専門家グループは以下の人たちの代表で構成されていなければならない。

- プロジェクト主導者の責任者
- 主導者のアシスタント
- 芸術家
- 法律家 (国際法)
- 放射線防護の専門家
- 静力学者/地質工学者
- 経済学者
- 経済地理学者
- 生態学者

この専門家チームは、2 ~ 3 週間の出張旅行で、実験場自体をはじめ、このプロジェクトに関係するすべての、決定権限を有する機関を訪れ、彼等と交渉するであろう。



„ポリゴン“
プロジェクトに関する
材料写真

「オピトゥノーエ・ポーレ」の展望



基幹構造物の近影



監視塔を背後から見る



回遊展示場「明示された抵抗」の
ための基幹構造物



爆発地点からの「オピトゥノーエ・ポーレ」
実験場の軍管区方向の眺め



核の湖、バラパン原野





地图



Atomtestgelände



宣言

- 現代社会の革命的变化は、自ら責任を取り、時代に即した情報社会の民主主義を実現するための可能性を一人一人に与えた。
- この事実は、政治的かつ社会的*に社会自体を革命的に変革することを要求する。
- この宣言のねらいは、その前提となる立場を示し、この変革を貫徹し得る手段をまとめ挙げることである。
- 自己の責任の上に位置する機関/知識階級、万能な知識階級はない。
- 社会的人間の未来、人間の世界は、人間の空間・時間・次元のあらゆる点におけるあらゆる種類の思考、行動/非行動、エネルギーの変換からの帰結として形成されるものであり、従って、だれによっても影響を受け易い。
- 人間的要因：殆どだれもが影響され、操作され得る。どの人間も精神的力**に対して抵抗力はない。
- 思考や観念を無限に貫徹するための絶対的武器は、特別に創作された文章である。
- 手段は郵便であり、インターネットであり、電話・・・である。
- 現代社会の感覚器官は、政府、中央軍事司令部、諜報機関、党、情宣機関、メディアである。
- 自己の責任は、あらゆる種類の団体、党または・・・組織に移譲することができない。
- すべての参加者は同等である。-政府、中央軍事司令部、諜報機関、党、情宣機関、メディアは人で構成されており、そしてすべての人は、地球を管理するうえでパートナーである。

*社会的革命：イデオロギーの発想者とイデオロギーの摂取者との間の垣根が取り払われ、今や誰もが自分独自の考えを表明する機会をもっている。これは民主主義を新しい情報宣伝技術に適合させるために必要なことである。

**精神的、メンタルなエネルギーは、人間的エネルギーであり、言葉や観念の形で他に伝えられる。